

龍神けいすけ 議会レポート

津市議会
議員

Vol. 8 | 2022年
3、6月議会

政策に対する考えを発信して
いきます。市政に関するご意見
ご要望お待ちしております！

HPやSNSで発信しています！

HP



Twitter
@kskrjn



facebook



未来に
種を蒔こう！

2期目の活動がスタートしました！

1月に執行された津市議会議員選挙では3,214票の信託をいただき再び議会に押し上げていただきました。
2期目でも引き続き、教育やデジタル改革など、未来につながる政策の実現にむけて活動していきます。よろしくお願いします。

取り組む政策リスト

1 教育

1人ひとりが能力を発揮できる教育を！



「個人と社会のいしずえ、全力で支えます。」

児童生徒の個性に応じた教育環境を整えることが、われわれ大人に課せられた使命です。さまざまな側面から教育の個別最適化をはかります。

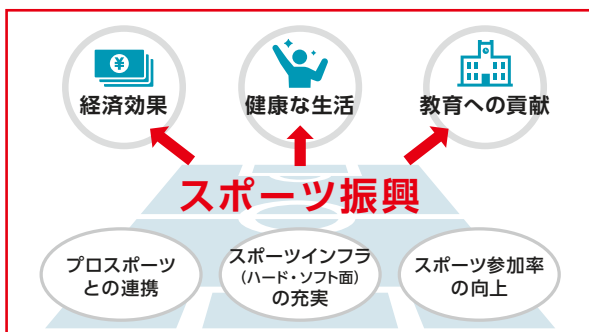
2 デジタル改革



「行政の“あたりまえ”を変えていく。」

市民サービスの充実と組織の持続可能性を考えると、デジタル技術の活用そのものに加えて、行政の組織には柔軟性と機動性が問われます。

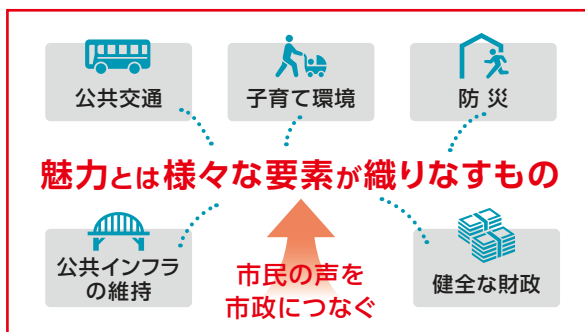
3 スポーツ環境の整備



「スポーツをする・見る・支える。」

スポーツには健康増進、教育的側面、経済効果など、さまざまなパワーがあります。スポーツをする・見る・支える都市をつくります。

4 住みたい街に



「住みたいまちへ、選ばれるまちへ。」

人を惹きつける魅力のあるまちは、タペストリーのようにさまざまな要素によって織りなされるもの。みなさんの声を市政にとどけるとともに、改善策を提案します。

当初予算のここに注目!

自治体DX推進事業が ついに始まる!

私が議会で繰り返し質問をしてきた自治体のデジタル活用について、令和4年度の当初予算で採用されました。

●今回導入するAI-OCRとRPAには どのような効果が?

AI-OCRは、従来のOCR(光学文字認識)の精度を人工知能によりさらに向上したものの。証明書等の内容を自動で判読し、RPAシステムへ自動入力する仕組みも考えられる。簡単にいえば、手作業での入力を自動で出来るようになり業務の効率化を図ることができる。

新たに取り組む会議について

議会答弁より: 自治体DXを全庁的に進めるためには、職員間の認識共有、機運醸成なくして難しいと考えている。今後、幹部職員から一般職員までセミナーや研修等を通じて共通理解を深める。また、令和4年4月から新たに各部局の幹部職員が参画する自治体DX推進会議を設置し、調整・推進の体制を構築し、国が示す自治体DXの取組方針や目標時期に基づき、DXを実行へと進めていく予定である。

6月議会総務財政委員会の答弁より: 国の方針をかんがみて令和7年を目処に自治体のデジタル活用をすすめるため会議を設ける。

水泳指導業務委託事業 (民間プールを利用した水泳授業)

詳細

●市内小中学校プールの半数以上が、設置後40年以上が経過している。老朽化により、使用できない学校プールも存在する。そこで、送迎やインストラクターによる指導を民間に委託し、教員とともに水泳授業を実施する。本事業は、今後の水泳授業の在り方を検討するための試行として位置づけられ、今後その効果を検証していく。

●本事業のメリットは、気温や天候の影響を受けない屋内プールを利用することで柔軟なカリキュラムを編成し、専門的な指導を受ける点にある。一方で、民間プールへの移動時間を含めた授業時間の捻出が必要となるが、移動時間は授業予習や復習にあてるとのこと。

●学校プールの解体新設と民間委託のコストを比較すると、1人あたりそれぞれ1万4,584円と7,000円。今回試行する5校のプールは修繕が厳しいため、今後はその土地利用についても、さまざまな可能性を検討していく。

3月議会一般質問 PickUp

【一般質問】

①スマートシティ関連

龍神: 官民連携プラットフォームに加入して事業のマッチングをおこなったり、独自の推進協議体をつくって民間のさまざまな企業やその他関係者とスマートシティを力強く進めている自治体もある。津市でもぜひ検討していただきたい。

市長: 地域全体のDXは、三重県が今回、社会全体のDXをひとつの事業として打ち出しているので、情報をキャッチしていく。さまざまな連携、基礎自治体が社会のDXを進めるためにどのような手法があるのかを情報収集する。若干遅れている反省もあるので、しっかり取り組んでいく。

②新設の県立大学について

龍神: まちづくりにおける大学とのさまざまなかたちでの連携は重要。新設の県立大学の話が出ている。現時点ではまったく未定だと思うが、もし具体性を帯びるのであれば、しっかりと取り組んでいただきたい。

政策財務部長: 三重県において県立大学の設置の是非を検討するための有識者会議がこれまで4回開催され、報告書も提出されている。設置の是非もふくめ、県として検討していくとのことであるため、市としては状況を把握して注視していく。

Topics 6月議会上程議案について

●コロナ禍における物価高騰対策など

子育て家庭物価高騰対策支援金 給付事業(一般会計補正予算第4号)

コロナ禍において食費等の物価高騰等に直面する子育て家庭に対する市独自の支援として、18歳以下の児童のいる子育て家庭に対し、1人当たり1万2千円の子育て家庭物価高騰対策支援金を給付。

対象者:0歳から18歳までの児童(平成16年4月2日から令和4年6月1日までの間に出生した児童)。

連絡先: 健康福祉部 こども支援課(059-229-3155)

物価高騰に対する事業者支援(追加議案)

①小規模企業者原油価格高騰対策事業継続支援

対象および支援:業種に関係なく令和4年1月から6月までのいずれかの月のガソリン、灯油、軽油、重油、電気及びガスに係る経費が20万円以上の小規模企業者に10万円、10万円以上20万円未満の小規模企業者に5万円の支援。

②障害者支援施設・介護保険施設等運営支援

電気代等光熱費の上昇により施設の運営経費が増加している障害者支援施設および介護保険施設等を支援。

③高速船運航事業者運航継続支援

原油価格の高騰により打撃を受けている高速船運航事業者に対し、原油価格高騰分相当額の1/2を補助。

連絡先: ①商工観光部 経営支援課(059-236-3355) ②健康福祉部 障がい福祉課(059-229-3157)



龍神啓介プロフィール

1987年4月11日生まれ。三重大附属小中、津高校、慶應義塾大学法学部卒業。証券会社、アルバイト、政治家秘書を経て、2018年執行の津市議会議員選挙で初当選。「未来へ種を蒔こう!」をキャッチフレーズに、個別最適化された教育、スポーツ文化の充実、自治体DXなどを目指して政策調査、政治活動を行なっています。

お問い合わせ先

龍神けいすけ後援会

514-1113 津市久居野村町874-28(自宅)

Tel/Fax: 059-256-1509

E-mail: info@keisukeryujin.com

HP: keisukeryujin.com